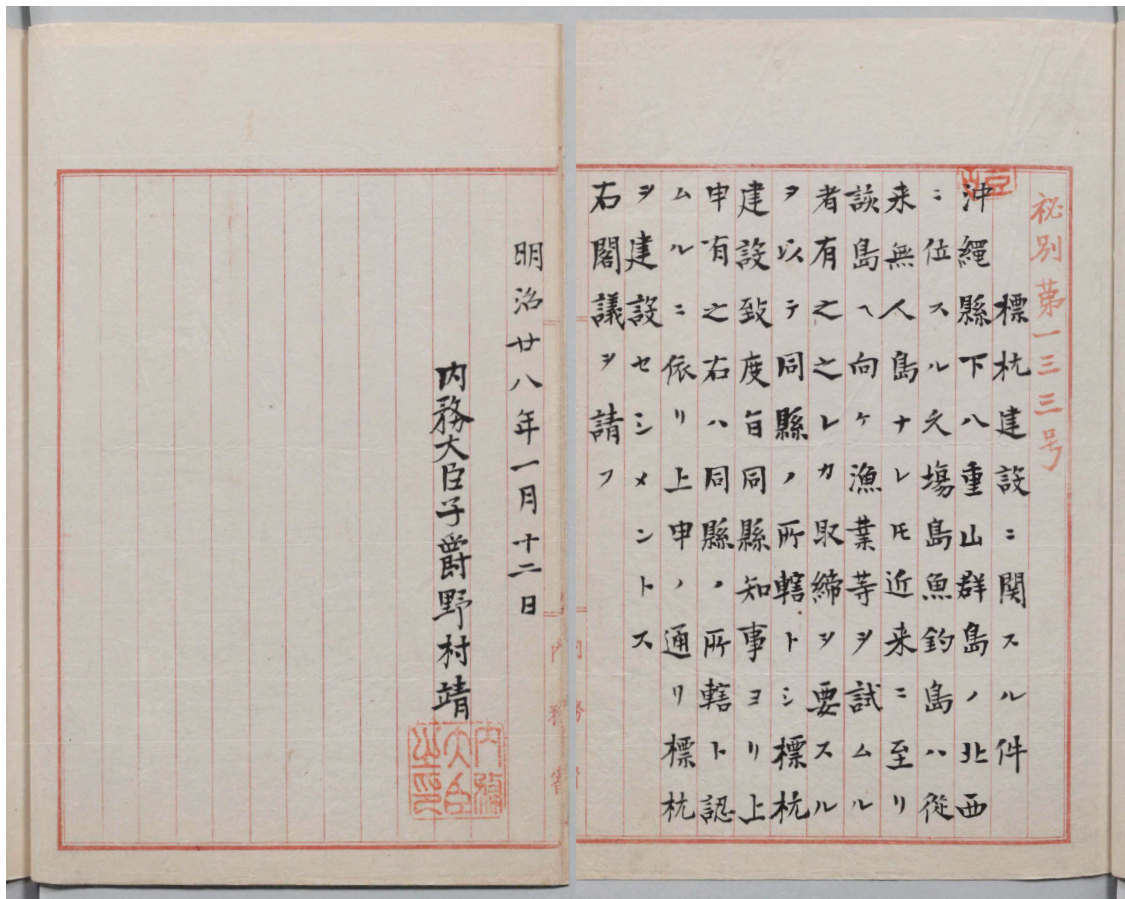


時代区分Ⅲ (1)-尖閣諸島の領土編入(沖縄県への所轄編入)閣議決定関連資料

沖縄県の上申について内務大臣が閣議を求めた文書

No.19 秘別第一三三号 標杭建設ニ関スル件

報H27/P12 1895年(明治28年)1月12日



資料概要

尖閣諸島を沖縄県に所轄編入したいとして同県知事から内務大臣に宛てて1893年(明治26年)11月2日付で提出された上申書への回答に際し、1895年(明治28年)1月12日付で内務大臣が作成した閣議への請議文書。

これまで無人島だった同諸島だが近年漁業を試みる者が現れたため、同県の所轄に編入したいとの県知事要望に対し、内務大臣はこれを認める旨回答したいとして閣議に提出した。

内務省野紙。

作成年月日	1895年(明治28年)1月12日
編著者	内務大臣子爵野村靖
発行者	-
収録誌	「沖縄県下八重山群島ノ北西二位スル久場島魚釣島へ標杭ヲ建設ス」『公文類聚・第十九編・明治二十八年・第二卷・政綱一・帝国議会・行政区・地方自治一』
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	国立公文書館
利用方法	国立公文書館で利用手続きを行う

内容見本

秘別第一三三号

標杭建設ニ関スル件

沖縄県下八重山群島ノ北西二位スル久場島魚釣島ハ従来無人島ナレドモ近来ニ至リ該島ヘ向ケ漁業等ヲ試ムル者有之レカ取締ヲ要スルヲ以テ同県ノ所轄トシ標杭建設致度旨同県知事ヨリ上申有之右ハ同県ノ所轄ト認ムルニ依リ上申ノ通り標杭ヲ建設セシメントス

右閣議ヲ請フ

明治二十八年一月十二日

内務大臣子爵野村靖(印)